

山岳コラボ展2019

〇と き 令和元年12月7日(土)から16日(月)まで
 〇と ころ 大田原市役所黒羽支所ロビー



令和元年コラボ展展示品リスト

| | 氏名 | タイトル | コメント |
|----|------|----------------------|--|
| 1 | 荒木 | みくりが池温泉からの夕景 | 2019年5月11日、立山登山の前泊地、みくりが池温泉から見た大日岳へ沈む夕日です。地獄谷の噴煙が印象的でした。 |
| 2 | 伊藤 文 | 涸沢カール | 天気にもまれた穂高縦走。前穂高山頂からのぞいた涸沢カール。最終日にふさわしい景色でした。 |
| 3 | 伊藤 文 | 剣沢と立山三山を望む | 6年ぶりの剣岳。今回は、「試練と憧れの早月尾根」から登りました。この絶景は、忘れられません。薬師岳も見えます。 |
| 4 | 伊藤 文 | 阿弥陀岳が燃えている(サンピラー現象) | それはあたかも阿弥陀岳が噴火しているような太陽の柱です。始めて見ました。 |
| 5 | 伊藤 秀 | アルプス銀座・穂高連峰縦走・前穂高岳山頂 | 2019年9月6日～8日、9月8日3時起床、4時穂高岳山荘を出発、奥穂高岳でご来光を拝み、吊尾根を歩き、紀美子平でリュックをデポして、7時55分前穂高岳に登頂する。前方には、槍ヶ岳、北穂高岳、涸沢カールと、振り返ると富士山に八ヶ岳と南アルプスの山なみ、この景色をみると、また次の山に・・・ |
| 6 | 伊藤 秀 | 鳥海山(岩と雪と花の三重奏)・鳥海湖 | 2019年7月19日～20日鳥海山、今回で3回目の挑戦です。ようやく天気に恵まれて登頂することができました。鉾立ルートから、御浜小屋を登ると想像以上に大きく楕円形の湖が見える。ニッコウキスゲ、ウサギギク、小屋のご主人から「ここから先はあんまりきれいな景色でなかなか先へ進めないよ。帰って来られないから!」と、冗談交じりの言葉を交わしました。ここから、本命の鳥海山を目指す。 |
| 7 | 伊藤 秀 | 鳥海山・イワブクロ | 御田ヶ原のハクサンイチゲの群生、七五三掛分岐から千蛇谷コースを登る。帰りの尾根コースに群生していた「イワブクロ」今回初めて見た花でした。薄紫のジギタリスのような花でした。鳥海山のもう一つの山頂七高山には、白い星型のチョウカイフスマが群生していました。 |
| 8 | 伊藤 秀 | 「俳句」 | 頂上は山座同定雲の峰 |
| 9 | 伊藤 秀 | 「俳句」 | 月山やリフト真下のお花畑 |
| 10 | 薄井 | 日本羚羊 | 野生蘭を撮影するため、花瓶山の林道を歩いていたとき50mくらい先で私をじっと見ている白い大きな動物に遭遇した。逃げないので、咄嗟にカメラを構え20mまで接近し撮影しました。本来、カモシカは八溝山系には生息していませんが数年前に那須方面から移動してきたと思われる。 |
| 11 | 薄井 | 裏那須の紅葉 | 三本槍岳付近は那須連山で最も早く紅葉が始まります。9月末、北斜面を少し下った展望所より、鏡ヶ池、甲子旭岳を背景に撮影しました。 |
| 12 | 薄井 | アルバム | 黒羽の山に咲く花 |
| 13 | 大金 | 春山雷鳥との出逢い | 春山合宿の一コマは、雷鳥との出逢いです。前日はみくりが池温泉に一泊し、雪でたっぷりの立山を目指しました。登山ルートの室堂山荘への途中、ほんの一瞬でした。冬は真っ白の雷鳥も、5月になると自然に残雪模様の羽根に変わっていました。妻を庇う男の雷鳥。私達登山者から一瞬の目も離さないその姿勢。感じ入りました。 |

| | | | |
|----|----|-------------------------------|---|
| 14 | 大金 | 感激の針ノ木岳 | 今年の春山合宿は、北アルプスの立山でした。立山アルペンルートを利用し、後立山の針ノ木をトンネル通過で、黒四ダムへ、何もかも初めてのルートですので驚きの連続でした。我が黒羽山の会リーダーの、旅慣れた伊藤さんたちのまるで登山ツアーガイドのように、テキパキとの手配は驚きと感謝の他ありません。前に縦走したことがある針ノ木岳が懐かしく、途中の展望台から。思はずカシャ！これは忘れられません。 |
| 15 | 大金 | ヒョンなことから磐梯山 | 最近になって、吾妻連峰は、交通便利な東の方だけ登って肝心な西吾妻山に登って無かったことに、気が付きました。これでは深田久弥の日本百名山・吾妻山に登ったことになりません。しかし、そのうちに米沢側から、何度も登っている人にめぐり合い、その人の助けにより西吾妻山に登頂できました。その帰り、檜原湖から眺めた裏磐梯の赤茶けた双耳峰が、深田久弥の”明日またる次の山”よろしく、次の山が磐梯山になってしまったのです。弘法清水と小屋のラーメンが忘れられません。また、西吾妻と西大顛の姿を観ながら、山を下りた充実感は、心の山日記に印象付けられました。 |
| 16 | 大野 | 針ノ木岳 | |
| 17 | 大沼 | 「写真と俳句」 | 花祭り 城址に仰ぐ 遥か山 |
| 18 | 海津 | やっば槍でしょ！ | 紅葉と池に映る槍ヶ岳を眺めに天狗池に行ってきました。今年は紅葉が遅れておりコントラストが今一歩でした。また行ってみたい場所になりました |
| 19 | 海津 | 花盛りの里と残雪の山 | 郷に春がやってくると、どこかに出かけたくなり、桜の名所で有名な高遠城址公園へ。背景は残雪の中央アルプス |
| 20 | 海津 | コバイケイソウ咲く白山室堂平 | 令和元年の夏山合宿は花の山で有名な加賀白山でした。今年はコバイケイソウの当たり年のようで大群落が見られた。 |
| 21 | 佐藤 | 「書」 山は呼んでいる | 山思えば人恋し、人思えば山恋し |
| 22 | 藤田 | パノラマ① 八溝の山並展望図 | 大田原市（旧両郷村大字中野内）地区にある大塚古墳からの眺めです。我が故郷の山。毎日眺めた山が指摘でき、思い出深い展望図ができました。この写真撮影は大田原市社会指導員の益子道明先生です。実写風景と違いないよう故阿久津正二先生著黒羽の民話などを参考にして製図しました。 |
| 23 | 藤田 | パノラマ② 黒羽運動公園からの栃木県北西部山岳展望図 | 江戸時代・黒羽の名画家小泉斐制作の那須野ヶ原展望図が現存し、当時の町民や、現在の大田原市民の間で親しまれています。私は両郷生まれですが、幼少時から家の庭から、八溝山・御岳山・途中山展望を楽しんできました。登山に始まり、登山に終わる人生と、仰々しく生きています。 |
| 24 | 藤田 | パノラマ③ 我が故郷の山々 | 昔黒羽藩や大田原藩などが、今や大田原市となり、人口7万3千人を数える、那須の中心都市となりました。昔の画家（黒羽藩の小泉斐・関谷雲崖・石川寒巖）たちも競って故郷の山野を描いています。市役所からの展望パノラマを製作してみました。大田原市役所8階展望所にあります。 |
| 25 | 辺見 | 逆さ槍 | 槍沢ロッジから天狗原分岐へ、そして待望の”逆さ槍” |
| 26 | 辺見 | 北穂高北壁 | 北穂高岳北壁より見上げる摩天楼”北穂高小屋” |
| 27 | 和知 | 水彩画 | 遠い空 |
| 28 | 和知 | 油絵 | ヒマラヤ |

搬入 12月7日(土) 午後3時

伊藤文、伊藤秀、薄井、大野、大沼、海津、古林、辺見、和知

撤収 12月16日(月) 午後1時30分

伊藤秀、薄井、大野、大沼、海津、斎藤、辺見、和知

